

子ども読書活動推進 平成31年度取組実績

No.	計画の体系における番号	計画ページ	計画の実現に向けた取組	平成31年度取組内容等	平成31年度取組の実績と課題等	平成31年度取組区分	担当課	
【基本方針Ⅰ】子どもの読書機会の提供・充実と読書環境の整備・充実								
1	(1)	①	P31	【ブックスタート事業】 保護者に絵本を介した親子のふれあいについて伝えます。絵本の紹介や読み聞かせ、市立図書館の利用案内の配付等を行い、保護者への啓発を行います。	中央図書館と連携し、4か月児健康診査の中でブックスタートの場を設け、啓発に取り組みます。	4か月児健康診査時のブックスタートの場で、保護者への啓発等に努めました。待ち時間の短縮化を図る中で、読み聞かせの取り組み方に工夫を要するため、中央図書館と調整しました。	継続	保健医療課
				4か月児健康診査時のブックスタートで絵本を手渡すとともに、絵本を介した親子のふれあいについて図書館職員が啓発を行います。健診の待ち時間を利用して、図書館のおはなしボランティアが、乳幼児と保護者に絵本の読み聞かせを行います。	4か月児健康診査時のブックスタートで、絵本を手渡すとともに、絵本を介した親子のふれあいについて図書館職員が啓発を行いました。また健診の待ち時間を利用して、おはなしボランティアが、乳幼児と保護者に絵本の読み聞かせを行いました。ブックスタートで渡す本の見直しを検討します。実施回数：33回、絵本配付数：2,090冊	継続	中央図書館	
2	(1)	①	P31	【子どもの読書に関する相談】 新刊や季節の本の案内、調べ物の支援等、家庭における読書活動を支援します。	引き続き、問い合わせの多いテーマなど、レファレンス対応がスムーズにできるよう本のリストを作成します。作成したリストは職員間で共有するとともに、利用者の手に取りやすい場所に配置するなど、活用されるように工夫します。新刊や季節の本以外にも、多様なテーマの特集を行います。ホームページに掲載している情報についても、随時見直しを行い、更新します。	新しく入った紙芝居や大型絵本、外国語の絵本リストを追加し、図書館ホームページに公開しました。リストは印刷して中央図書館の書架に置き、利用者から問い合わせがあった際に案内しました。中央（分館）でのリスト設置や、職員間での情報共有、リスト更新・追加作業が継続的に必要です。季節や行事ごとの特集コーナーを設置し、本のリストを図書館ホームページに公開しました。ホームページの「子ども向け調べものリンク集」を見直し、調べものに活用できるサイトを新たに追加しました。継続的に、定期的な見直しと更新作業が必要です。	継続	中央図書館
3	(1)	①	P31	【家庭での読書活動の啓発】 家庭における読書活動の役割について、保護者への啓発に努めます。	乳幼児健康診査、家庭訪問等において、年齢に応じた読み聞かせや絵本の使い方について伝え、家庭での読書活動のきっかけづくりとなるよう取り組みます。	乳幼児健康診査、家庭訪問等で絵本に触れ合う機会を設け、家庭での読書活動のきっかけ作りとなるよう努めました。	継続	保健医療課
4	(1)	①	P31	【家庭での読書活動の啓発】 絵本だよりを配付することで、保護者が本を選びやすくなるように図書の情報提供に努めます。	ブックリストの活用や文書の発行、掲示物の工夫などを通して、保護者へ読み聞かせの大切さや楽しさを伝えます。また、引き続き子どもの興味や関心が高い絵本等の情報提供を実施します。	保護者へ文書の発行を通して絵本の読み聞かせの大切さや楽しさ、方法を伝えると共に、子どもの興味や関心に合わせた絵本等の情報提供を行いました。保護者自身が魅力を感じ、絵本の世界が広がることで家庭での読書活動を行うきっかけになると考えられます。引き続き啓発に取り組んでいきます。	継続	保育幼稚園総務課
5	(1)	①	P31	【家庭での読書活動の啓発】 学校だよりや図書館だよりで読書についての記事を掲載します。読書感想文を夏休みの宿題にすることで、家庭での読書を推進するよう指導しています。	学校だよりや図書館だよりの活用、読書感想文や読書感想画の取組を通して、家庭での読書を推進するよう指導します。「図書館を使った調べる学習コンクール」を活用し、調べ学習で図書を活用することを周知します。	学校図書館貸出冊数は年間518698冊（平成30年度520119冊、平成29年度531704冊）でした。一方、平成29・30・31年度の全国学力・学習状況調査の経年比較では「授業時間以外に読書を全くしない」と答えた本市小学6年生は、22.3%→22.5%→22.5%、中学3年生は35.9%→33.5%→36.3%でした。小中学校とも増加傾向であることが課題であるといえます。	継続	学校教育推進課
6	(1)	①	P31	【家庭での読書活動の啓発】 ブックリストを作成し配付します。読み聞かせの方法や本の選び方の参考となるような講演会や講座を開催し、保護者への働きかけに努めます。	年2回ブックリスト「おもしろい本みつたえ」を作成し、市内の保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・その他子育て関連施設に配付します。親子で参加できる読み聞かせ講座を2回、大人を対象にした子どもの本の読書講座を3回、各図書館で開催します。読書感想文の書き方講座は、分館で4回開催します。	ブックリスト「おもしろい本みつたえ」を年2回作成し、市内の学校・園・その他子育て関連施設に配付しました。私立保育園・幼稚園・民間保育施設へは一定数の配布となっていることが課題です。発行部数：80,000部 親子で参加できる読み聞かせ講座、大人を対象にした子どもの本の読書講座、読書感想文の書き方講座を、各図書館で開催しました。参加の少ない講座については、内容を精査する必要があります。また、SNS等を活用した、図書館未利用者へ向けたの広報・情報発信が課題です。	継続	中央図書館
				中央図書館と分館で、利用者が家で読まなくなった本を持ち寄り、メッセージとともに交換する「こどもの本交換会」を開催しました。開催回数：7回 参加者数：512人 中条図書館では、親子向けに「ふれあう絵本ひろば」を開催し、絵本の紹介などを行いました。参加者数：49人 大阪府と連携図書館が連携し、イオンモール茨木で、「えほんひろば」を開催し、自由に本を見たりもらったり、図書館ボランティアによるおはなし会などを行いました。参加者数：423人	継続	中央図書館		
7	(1)	②	P32	【保育所・幼稚園における読書の習慣化への取組】 年齢に応じたおはなしや絵本、紙芝居等を取り入れた保育を行うほか、絵本だよりの配付や本の貸出を通じて、家庭への情報提供や読書の習慣化を図ります。	保育所、幼稚園において子どもへの読み聞かせを実施します。（1日1冊以上） 絵本の貸し出しを実施し、家庭において親子で楽しむ機会を啓発します。	一日一冊以上、子どもへの読み聞かせを実施しました。また、定期的に絵本の貸し出しを実施し、家庭において親子で絵本に親しむ機会を啓発しました。	継続	保育幼稚園総務課

子ども読書活動推進 平成31年度取組実績

No.	計画の体系における番号	計画ページ	計画の実現に向けた取組	平成31年度取組内容等	平成31年度取組の実績と課題等	平成31年度取組区分	担当課	
8	(1)	②	P32	【小・中学校における読書の習慣化への取組】 司書教諭・学校図書館支援員・学校図書館ボランティアが連携し、学校図書館を活用した取組の充実を図ります。 日頃から様々な形で本に触れる機会を設けることで、読書活動の習慣化に向けた指導を行います。	学校図書館を活用した取組の充実を図るとともに、一斉読書や読み聞かせ等の取組から、読書活動の習慣化に向けた指導を行います。 また、学校図書館ボランティア対象に絵本読み聞かせの研修会を行います。	小・中学校全校に配置している学校図書館支援員を対象に、学校図書館支援員連絡会を年間3回開催し、読書に親しむための取組みの交流等を行い、学校図書館の充実を図りました。現在、一斉読書は小・中学校46校全校で取り組み、読み聞かせも小学校32校全校で取り組んでいます。	継続	学校教育推進課
9	(1)	②	P33	【障害のある子どもへの読書機会の提供】 保育所では、全体や小グループでの読み聞かせを実施する、1対1での読み聞かせに努めるなど個別の状況に応じて対応しています。 幼稚園では、個別の読み聞かせの時間や場の確保、一斉読み聞かせにおいては個々の子どもの持つ特性に応じた支援に努めています。	全体での読み聞かせにおける必要な配慮と共に、個に応じて興味のある絵本を1対1で楽しむ対応を継続します。	配慮を必要とする子どもが増加している中で、1対1での対応が難しい時もあるが、全体での読み聞かせにおける必要な配慮と共に、保育の場面や個人の特性に合わせて、どの子ども絵本を楽しめるように配慮しながら読み聞かせの実践を行いました。	継続	保育幼稚園総務課
10	(1)	②	P33	【障害のある子どもへの読書機会の提供】 司書教諭連絡会等において障害のある子どもたちの読書状況について情報交流を行い、効果的な指導方法について研修機会をつくります。	司書教諭連絡会等で、情報交流や研修の機会をつくります。	学校図書館支援員連絡会において、子ども理解の研修やデジター図書についての情報交流を行いました。全ての子どもたちに効果的な指導方法について授業研究会を行い交流を行いました。	継続	学校教育推進課
11	(1)	②	P33	【障害のある子どもへの読書機会の提供】 障害児通所施設等で、療育の一環として子どもが興味を持った絵本の読み聞かせを行い、それぞれの子どもに応じた読書機会を提供します。	子どもたちの発達課題とそれぞれの興味関心に合わせた絵本を選択し、子どもの集中しやすい環境を整えながら、絵本の読み聞かせを継続します。	自由遊び時に、子どもたちが興味のある、視覚に訴えかけやすいような図鑑や大型絵本などを選定し、楽しく集中できるよう読み聞かせを行いました。また、設定保育や行事等においても、四季折々の自然や行事に関連する絵本を読み聞かせる機会を設定しました。	継続	子育て支援課
12	(1)	③	P33	【「おはなし会」の充実】 図書館で年齢や季節に応じた「おはなし会」を実施します。 市立保育所・幼稚園・小・中学校において、おはなし会ボランティアによるおはなし会を実施します。	図書館や市立の学校・園、市内のイベント等でおはなし会を開催します。 不定期開催を含めて、全館で0～3歳までの乳幼児と保護者を対象にした「ちいさいこはなし会」を開催します。	各図書館・分室でおはなし会を開催するとともに、市立の学校・園や、きらめきフェスタなど市内のイベント等におはなし会ボランティアを派遣しました。 派遣箇所：25か所 中央・分館で、0～3歳までの乳幼児と保護者を対象にした「ちいさいこはなし会」を定期的に開催しました。 開催回数：268回 参加者数：4,046人	継続	中央図書館
13	(1)	③	P34	【人形劇・工作等行事の開催】 図書館を利用したことのない子どもたちにも来館してもらえよう、人形劇などの行事を行います。	図書館の利用促進を図るため、各図書館で工作行事等を開催します。 「ブックトラベル」を開催し、おはなし会や子ども向けの工作、クイズ等を実施します。	各図書館で工作等の行事を開催しました。 SNS等を活用した、図書館未利用者へ向けての広報・情報発信が課題です。 工作等行事 開催回数：13回、参加者数：794人 元茨木川緑地で、「本」と一緒に、みどりの中でゆったりと過ごせるイベント「BOOK TRAVEL@元茨木川緑地」を開催しました。おはなし会やミニ絵本づくり、子どもから大人まで参加できる文学クイズを実施しました。 参加者数：おはなし会192人、ミニ絵本作り203人、文学クイズ402人 「図書館を使いこなそう講座」として図書館の上手な使い方が身に付く「図書館なぞときゲーム」としょかんたろうをさがせ」を開催しました。開催回数：1回 参加者数：37人	継続	中央図書館
14	(1)	④	P34	【川端康成文学館における読書機会の提供・充実】 小・中学生向け文学講座を開催し、読書機会の提供に努めます。	今年は川端康成の生誕120年にあたることから、6月の生誕月記念企画展の会期を延長して行います。夏休み期間中は恒例の小中学生向け企画を行い、子どもたちが川端康成に興味を持ち読書に向かうきっかけとなるよう努めます。	夏休み企画として、恒例になっているアニメ上映会、クイズ、プラバン作り、学芸員によるキャラリートークを行いました。 テーマ展示「川端康成とふるさと茨木」の展示を夏休み中から実施し、期間を長くしたことで、より多くの方に理解を深めてもらえました。 9月には映画「葬式の名人」公開を記念して関連展示を行い、映画のモチーフとなった作品を紹介することで、川端作品を読むきっかけを作りました。	継続	文化振興課
15	(1)	④	P34	【公民館における読書機会の提供・充実】 講座等の機会を活用して絵本の紹介や読み聞かせを行い、読書機会の拡大に努めます。	今後とも各公民館の意向を確認しながら、中央図書館と連携し、各公民館での読み聞かせを開催するとともに、市内大学（梅花女子大学等）と連携を図り、大学生による絵本の読み聞かせ等の取り組みが進められるよう調整を行います。	市内10公民館において、中央図書館や梅花女子大学と連携し、「読み聞かせ」の講座や講習会を開催しました。 開催回数：10回 開催回数：41回	継続	社会教育振興課
16	(1)	④	P34	【青少年センターにおける読書機会の提供・充実】 青少年センター主催事業において、読書機会の提供に努めます。	引き続き、子どもセミナーの開催に合わせて、紙芝居の読み聞かせを行い、親子で本に親しむ機会を提供することに努めます。	青少年センター主催事業の子どもセミナーで「しかけ絵本」のセミナーを開催し、馴染みのある物語で、ポップアップなどのしかけのある絵本の作成を行いました。また、子どもセミナーの開催に合わせて、紙芝居の読み聞かせを開催しました。 開催回数：4回 セミナー参加者：117名（子ども73名 保護者44名）	継続	社会教育振興課

子ども読書活動推進 平成31年度取組実績

No.	計画の体系における番号	計画ページ	計画の実現に向けた取組	平成31年度取組内容等	平成31年度取組の実績と課題等	平成31年度取組区分	担当課	
17	(2)	①	P35	【子どもの本のコーナーの充実】 各施設に設置されている子どもの本のコーナーの充実に努めます。	来館者をはじめ多くの方に利用してもらえよう、引き続き、児童書・絵本の充実と周知に努めます。また、4月の学童支援員対象の会議でチラシを配布するなど、事業の周知に努め、より多くの子どもたちに読み聞かせができるよう努めます。	豊川いのち・愛・ゆめセンターの図書室において、児童向けに半分ほどスペースをとり、学習会やイベントの前後に、楽しんで読んでいってもらえるスペースにできるよう配架を工夫しました。 総持寺いのち・愛・ゆめセンター2階ゆめサロンのスペースにおいて、絵本等を分かりやすく配置することにより児童に読書を楽しんでいただけるよう工夫しました。 沢良宜いのち・愛・ゆめセンター2階図書・学習コーナーにおいて、新刊の絵本等を効果的に配置するとともに、1階ロビーにも絵本を配置し、子育てサークル等が利用しやすいよう配慮し、積極的な貸し出しを行いました。 男女共生センターのネットワークギャラリーの平積み書架に配架する資料を、季節・トピックス等のテーマに沿って毎月入替すること、大人向け、子供向け資料のゾーニングを実施しました。	継続	人権・男女共生課
				市役所南館3階「本のコーナー」に、図書館のおはなし会の案内やカレンダーを配架し、子どもが本に触れる機会を増やせるように努めます。また、「本のコーナー」に置く絵本を増やすことを検討しています。	市役所南館3階「本のコーナー」に、図書館のおはなし会の案内やカレンダーを配架し、子どもが本に触れる機会を増やせるよう努めました。	継続	こども政策課	
				子どもの興味関心のある絵本、年齢や季節に応じた絵本を精選するなど、コーナーの充実を図ります。	子どもの興味や関心のある絵本を選定し、年齢や季節等に合わせてさらに興味や関心が高まるよう、計画的に絵本コーナーにおける環境の工夫を行いました。	継続	保育幼稚園総務課	
				引き続き、図書館の作成したブックリストを各学童保育室に配付し、教室予算で購入するように促します。また人権・男女共生課と連携し、出前よみかせを活用します。	各学童保育室で、希望する本の購入をしました。また、茨木市産業環境部環境政策課が発行した「生きものいろいろ探しに行こう!」、「いきものウォッチ」の冊子を各学童保育室に配布しました。 人権・男女共生課と連携し、出前読み聞かせを4学童保育室で実施しました。	継続	学童保育課	
				中央図書館と連携し、より多くの児童図書の設置に努めます。	中央図書館のリサイクル図書100冊を公民館の図書コーナーに補充しました。	継続	社会教育振興課	
				引き続き、図書コーナーの充実を図り、利用者が読書に親しめる環境づくりに努めます。	上中条青少年センター2階の図書コーナーに、年齢に応じた小学生向けの図書を33冊購入し、貸出しにも応じることができるよう対応しました。	継続	社会教育振興課	
				教育相談待合室における子どもの本の充実に努めます。	教育相談待合室において、相談の待ち時間に保護者と子どもが本を通じて交流できるよう、子どもの本の充実に努めました。	継続	教育センター	
18	(2)	②	P36	【子どもの本の選定・収集の充実】 子どもたちが来なくなる学校図書館づくりのため、調べ学習・教科関連図書の収集に努め、蔵書の充実を図ります。	子どもからのリクエスト等も考慮しながら、蔵書の充実を図るとともに、物流サービスを活用し、他校や公共図書館の図書も活用します。「図書館を使った調べる学習コンクール 地域コンクール」を開催し、調べ学習を通じて多様な蔵書の活用を図ります。	各学校において子どものリクエスト等も考慮しながら、蔵書の充実を図りました。物流サービスについては、物流回数15回で年間341回、11961冊の活用がありました。(前年度は物流回数14回で年間373回、10548冊)	継続	学校教育推進課
19	(2)	②	P36	【学校図書館運営体制の充実】 学校図書館支援員・司書教諭・学校図書館ボランティア等が連携し、学校図書館の利用促進を図る取組を進めます。	学校図書館支援員・司書教諭・学校図書館ボランティア等が連携するとともに、市立図書館職員による研修や学校図書館の見学・アドバイスも行い、学校図書館の運営体制の充実を図る取組を進めます。	学校図書館支援員・司書教諭・学校図書館ボランティア等が連携するとともに、図書館職員による学校図書館の見学・アドバイスを行いました。また、学校図書館支援員連絡会において、図書館の児童書担当者が参加し、アドバイス等を行いました。	継続	学校教育推進課
20	(2)	③	P37	【子どもの本の選定・収集の充実】 計画的に図書の購入を行い、資料の充実に努めます。中学・高校生を対象とした一般書についても資料の充実に努めます。	年齢に応じた本のほか、児童書と一般書の区別にとらわれず、幅広く本を収集し、資料の充実に努めます。児童室と一般室が連携し、中学・高校生向けの本の充実に努めます。	新しい本や、メディアで紹介され話題になった本の情報を収集し、資料の充実に努めました。また、利用の多い本については異い直しを積極的に行いました。中学・高校生対象の資料の収集について、一般書と児童書の担当で協議する機会を増やす必要があります。	継続	中央図書館
21	(2)	③	P38	【子ども向け広報の充実】 ホームページやチラシなどの多様な媒体により、利用案内及び行事案内を充実させます。	ちらしやポスターによる広報を行うとともに、図書館ホームページを活用し、行事のお知らせや、本の紹介などを行います。SNSを使ったPR活動にも努めます。	ちらしやポスターによる広報を行うとともに、図書館ホームページを活用し、行事のお知らせや、本の紹介などを行います。SNSを使ったPR活動にも努めます。	継続	中央図書館
22	(2)	③	P38	【すべての子どもが利用しやすい環境づくり】 障害のある子どもや、日本語を母国語としない子どもも図書館を利用しやすくなるよう、環境の整備に努めます。	引き続き、外国語で書かれた子ども向けの本を収集するとともに、必要に応じて大阪府立図書館や他市の図書館で所蔵している外国語の本についても、情報提供を行います。子ども向けデジター図書の周知・利用促進に努めます。	外国語で書かれた児童書について収集や整理体制についてマニュアルを作成し、中国語など外国語に翻訳された日本の絵本を、新たに購入しました。購入した本をリストにし、書架に設置するとともに、ホームページにも公開しました。外国語で書かれた図書の収集を計画的に進めることが必要です。 中国語10冊、韓国語11冊、英語6冊 子ども向けデジター図書の利用は1名ありました。利用につなげるために、市内施設と連携して、より広く周知することが課題です。	継続	中央図書館

子ども読書活動推進 平成31年度取組実績

No.	計画の体系における番号	計画ページ	計画の実現に向けた取組	平成31年度取組内容等	平成31年度取組の実績と課題等	平成31年度取組区分	担当課	
【基本方針Ⅱ】 学校・地域等と市立図書館との連携による推進体制の整備								
23	(1)	①	P39	【保育所・幼稚園への団体貸出の利用促進】 中央図書館が保育所・幼稚園の読み聞かせ等に利用する本の団体貸出を実施します。	図書館ホームページや広報いばらきの他、園長会でも周知を行い、団体貸出の利用促進に努めます。	図書館ホームページや広報いばらきの他、園長会でも周知を行い、団体貸出の利用促進に努めました。団体貸出の冊数を増やすよう周知が必要です。 貸出数：4園 690冊	継続	中央図書館
24	(1)	①	P39	【見学の受け入れ】 中央図書館と4つの分館で、小学校・保育所・幼稚園からの見学の受入をし、来館した子どもたちに利用案内、館内見学を実施します。資料を豊富に揃えて、読書や調べ物に利用できることなどを伝えて利用促進を図ります。	小学校・保育所・幼稚園から図書館への見学を実施します。図書館を紹介し、利用促進につなげます。 各図書館で、図書館見学の受け入れを実施します。図書館に親しんでもらう機会とし、利用促進につなげます。	中央図書館及び分館で、図書館見学を実施しました。 小学校や幼稚園からの図書館見学を受け入れ、利用カードの作成、館内見学、図書貸出等を行いました。図書館を知ってもらうよい機会となり、今後も継続して実施します。 受入数：小学校 28校 2,566人、幼稚園 8園 404人	継続	学校教育推進課
25	(1)	①	P39	【職場体験の受け入れ】 中央図書館と4つの分館で、中学校からの生徒を受け入れ、貸出・返却・書架整理等の業務等を体験してもらい、市立図書館を身近に感じ、親しんでもらう機会にします。	中学校から図書館への職場体験を実施し、図書館に親しむ機会にします。 各図書館とも中学生の職場体験を受け入れ、図書館に親しんでもらう機会とします。	中学校から図書館への職場体験を実施し、図書館に親しむ機会を設定しました。 中学生の職場体験を受け入れ、カウンターや事務所内の作業など、図書館業務の体験を行いました。参加した中学生が選んだおすすめの本と紹介文を図書館ホームページ内「中学生のおすすめ本」のページに掲載しました。図書館を知ってもらうよい機会なので、今後も継続して実施します。 受入数：13校 25回 59人	継続	学校教育推進課
26	(1)	①	P40	【市立図書館利用の促進】 読書活動においても小・中学校間の連携を進め、研修会を持ち、市立図書館の利用の周知を行い、学校と市立図書館との連携を深めます。学校と市立図書館との連携を進め、読書活動の周知を行い、学校と市立図書館との連携を深めます。	読書活動においても小・中学校間の連携を進め、研修会を持ち、市立図書館の利用の周知を行い、学校と市立図書館との連携を深めます。学校と市立図書館との連携を進め、読書活動の周知を行い、学校と市立図書館との連携を深めます。 「茨木市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、全国コンクールにも応募します。	学校と市立図書館とで連携できる「学校と公共図書館ねっとわーくプラン」を、校長会、司書教諭等連絡会、学校図書館支援員連絡会にて周知し、活用しました。 「茨木市 図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、332名の応募があり、うち、7点を全国コンクールへ出展しました。（前年度は542点）	継続	学校教育推進課
27	(1)	②	P40	【学校への団体貸出の利用促進】 学校の調べ学習等に利用する本の団体貸出を実施します。物流システムを活用し、利便性を高めます。	作成されたマニュアルを活用し、団体貸出の充実を図ります。 校長会等で団体貸出について周知します。必要に応じて、本市以外の図書館の本についても、情報提供を行います。	団体貸出の手順を学校に周知し、その結果、中央図書館と小・中学校を巡回する物流サービスが、341回利用されました。（前年度は373回） 校長会や学校図書館支援員連絡会等で団体貸出の利用について周知しました。 貸出数：30校 2,334冊 図書館支援員に大阪府立図書館の団体貸出についての案内をしました。	継続	学校教育推進課
28	(1)	②	P40	【市立図書館の司書による情報提供】 市立図書館の司書が、学校図書館教諭及び学校図書館支援員に情報提供を行い、市立図書館を活用した取組を支援します。	「学校と公共図書館ねっとわーくプラン」に基づき、司書教諭や学校図書館支援員の連絡会に図書館職員が出席し連携に努めます。図書館職員が小・中学校の図書館を訪問し情報提供を行います。年2回「ねっとわーくだより」を発行し、図書館職員から学校図書館運営に関わる教職員に向けた情報提供を行います。	「学校と公共図書館ねっとわーくプラン」に基づき、学校図書館支援員連絡会に図書館職員が出席し、配架や安全に配慮した書架のレイアウトについてや、団体貸出など図書館運営についての情報提供を行いました。 図書館職員が学校図書館を訪問し、学校ごとの相談に応じました。 訪問数：小学校18校、中学校6校 図書館職員から学校図書館運営に関わる教職員に向けた情報提供のための「ねっとわーくだより」を7月と2月に発行しました。	継続	中央図書館
29	(2)	①	P41	【生涯学習出前講座の実施】 市立図書館の司書が、読み聞かせについての講座や図書の修理実演、市立図書館の利用案内等を行います。	子どもの読書に関わる市民の依頼を受けて、図書館職員が読み聞かせについての講座や図書修理の実演、図書館利用案内等を行います。	今年度は出前講座の利用がなかったため、リーフレットの設置など周知に努めます。	継続	中央図書館
30	(2)	①	P41	【ブックリストの配付・活用】 児童書紹介ブックリストを配付し、図書館を利用したことがない子どもや保護者にも、読書活動の大切さをお知らせします。	ブックリスト「おもしろい本みつけた」を作成し、保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の児童・生徒に配付します。また、ホームページにも掲載します。	ブックリスト「おもしろい本みつけた」を年2回作成し、保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の児童・生徒に配付しました。また、ホームページにも掲載しました。今後も、配布先や配布枚数の拡充等、より多くの子どもたちにリストを届ける方法を検討する必要があります。 発行部数：80,000部	継続	中央図書館
31	(2)	②	P41	【地域団体・ボランティアのネットワークづくり】 市立図書館が、子育てサークル等、子どもの読書にかかわる地域団体・ボランティア間の情報交換・交流を図り、連携・協働して子どもの読書活動を推進します。	市内で読み聞かせ等の活動をするボランティアの情報を収集し、連携に努めます。	市内で読み聞かせ等の活動をするボランティアについて、活動状況やメンバーの募集状況等の情報収集を行いました。今後、読み聞かせ等の活動をするボランティアや子育て支援等の活動をする地域団体とどのような連携が図れるかを検討する必要があります。	継続	中央図書館
32	(3)	—	P42	【児童サービス担当司書の養成】 児童サービスに携わる司書を養成するとともに、研修の充実を図り、子どもの読書活動を推進する取組を行います。	大阪府立中央図書館での研修会や、児童サービス担当者連絡会等に出席し、職員のスキルアップを図るとともに、他市の図書館職員との情報交換に努めます。	大阪府立中央図書館での研修会や、児童サービス担当者連絡会等に出席し、職員のスキルアップを図るとともに、他市の図書館職員との情報交換に努めました。図書館内での児童サービスの研修には、児童担当だけでなく全館で取り組み、職員の児童サービスの充実にも努めました。	継続	中央図書館

子ども読書活動推進 平成31年度取組実績

No.	計画の体系 における番号	計画 ページ	計画の実現に向けた取組	平成31年度取組内容等	平成31年度取組の実績と課題等	平成31年度 取組区分	担当課	
33	(3)	—	P42	【司書教諭・学校図書館支援員・学校図書館ボランティアの知識技能の向上】 司書教諭・学校図書館支援員・学校図書館ボランティアの知識技能の向上のため、定期的に研修を行い、情報交換を行います。	定期的に連絡会・研修会を開催し、知識技能の向上を図ります。 また、学校図書館支援員連絡会で中央図書館の職員による研修を実施します。	司書教諭連絡会を2回、学校図書館支援員連絡会を3回行うとともに、学校図書館支援員連絡会では、図書館の職員による研修や意見交流を行う時間も設けました。司書教諭等連絡会では、図書館を利用した授業の充実を図るための研究授業を行いました。	継続	学校教育推進課
34	(3)	—	P42	【保育士・幼稚園教諭の読み聞かせ技術の向上】 園内における読み聞かせの時間をさらに充実したものにするため、保育士・幼稚園教諭の技術向上を図る研修を行います。	今後も園内研修を通して職員間で意見交流や情報交流を行うことで、所・園内における読み聞かせをさらに充実したものにしていきます。また、保育士・幼稚園教諭は研修等に積極的に参加し、読み聞かせや子どもの目線にあった絵本の選択技が上げられるよう技術の向上をめざします。	研修を実施し、職員の資質向上を図りました。また、職員が積極的に研修会などへ参加し、新しい絵本の情報収集に努めました。	継続	保育幼稚園総務課
35	(3)	—	P42	【おはなし会ボランティアの技術向上】 ボランティアの講習会及び技術向上のための研修会を定期的実施します。	ボランティアの講習会及び技術向上のための研修会を定期的実施します。 茨木市立図書館以外の図書館等で開催される講座について情報提供を行います。	おはなし会ボランティアを対象にした「おはなし会での絵本の選び方・読み語りかた」についての研修会を実施しました。 参加者数：43人 おはなしボランティアに大阪府立図書館で開催される研修会について、定例会で情報提供を行いました。	継続	中央図書館

子ども読書活動推進 平成31年度取組実績

No.	計画の体系 における番号	計画 ページ	計画の実現に向けた取組	平成31年度取組内容等	平成31年度取組の実績と課題等	平成31年度 取組区分	担当課
【基本方針Ⅲ】 子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発							
36	(1)	—	P43	【「子ども読書の日」の普及】 「子ども読書の日」及び「こどもの読書週間」に合わせて行事等を開催し、読書活動の推進を図ります。	「子ども読書の日」及び「こどもの読書週間」に合わせて、おはなし会スペシャルや子どもの本交換会等を各館で開催しました。 おはなし会スペシャル 参加者数：18人（中央図書館） 子どもの本交換会 開催回数：7回、参加者数：512人（中央図書館5回、中条図書館1回、穂積図書館1回） 各館ごとの行事だけでなく全館共通の行事も検討し「こどもの読書週間」のPRに努めます。	継続	中央図書館
37	(1)	—	P43	【講習会・読み聞かせ会の開催】 幼稚園では、保護者を対象に講習会や読み聞かせ会などを園行事の中に組み込みます。	図書館ならびに地域ボランティアの協力を得て、実施します。 チラシの配付時期・配布方法を工夫し、さらに周知を図るとともに、簡単なワークも取り入れて、子どもたちに自分を大切にすることを絵本を通して伝えます。	継続	保育幼稚園総務課
38	(1)	—	P43	【講演会・講座の開催】 子どもの読書に関する講演会や講座を開催し、子どもの読書活動の意義について、啓発を図ります。	親子で参加できる読み聞かせ講座と、大人を対象にした子どもの本の読書講座を、各図書館で開催しました。 読み聞かせ講座 開催回数：2回、参加者数：105人 子どもの本の読書講座 開催回数：3回、参加者数：139人 読書感想文の書き方講座 開催回数：4回、参加者数：194人 講座の内容を検討し、親子で参加できる講座などの充実を図ります。	継続	中央図書館
				引き続き、子ども読書活動の意義を啓発できるよう働きかけを行います。	公民館長・主事会議や運営委員長会議の場において、現代的課題・地域課題の解決に向けた取り組みのひとつとして、公民館における読み聞かせ講座等の開催を要請しました。	継続	社会教育振興課
				おはなし会については検討中です。1階交流コーナーの「乳幼児及び小学生向け書籍コーナー」を継続し、読書が推進されるように努めます。	「きらめきおはなし会」及び1階交流コーナーの「乳幼児及び小学生向け書籍コーナー」を継続して取り組み、読書が推進されるように努めました。	継続	文化振興課
39	(1)	—	P44	【本市にゆかりのある作家と作品の紹介・普及】 川端康成文学館、富士正晴記念館、宮本輝ミュージアムの関連施設が連携して、子どもたちにわかりやすい情報提供に努めます。	引き続き、パンフレットやイベントチラシの設置など、関連施設と連携し周知に努めます。 各館でイベント等のチラシを設置し、周知に努めます。 富士正晴記念館は、国立民族学博物館で開催される北大阪ミュージアムメッセに展示ブースを出展し、記念館のPRを行います。富士正晴にちなんだ子ども向けのクイズやぬりえも実施します。 移動図書館ともひび号は、ブックトラベルにおいて、子どもから大人まで参加できる、文学クイズ（宮本輝、川端康成、富士正晴について出題）を実施しました。参加者数：402人 本市にゆかりのある作家と作品について子どもたちにわかりやすい情報提供に努める必要があります。	継続	中央図書館
40	(2)	—	P44	【ブックリストの作成・配付】 乳幼児から中学生までの年齢に応じたおすすめの本を紹介するブックリストを引き続き作成・配付します。 今後対象を高校生まで広げたブックリストについても作成し、中学・高校生に対する情報提供の充実を図ります。	ブックリスト「おもしろい本みつけた」の作成・配付を行います。 中学・高校生向けの図書を選定については、一般室担当職員も参加し、中学・高校生の興味に沿った選書に努めます。 今後も、さまざまな機会をとらえて、ブックリストの配布や本の紹介を行い、本に触れていただく機会の拡充に努めます。 親子講座でのブックリスト配付により、行事参加者に図書コーナーの存在や貸出ができることを周知し、図書利用カードの新規作成につなげるよう努めます。	継続	中央図書館
					豊川いのち・愛・ゆめセンターでは、平和パネル展でブックリストの配付を行いました。	継続	人権・男女共生課
					男女共生センターの、子育て中のお父さん・お母さん向け連続講座で、ネットワークギャラリー所蔵のおすすめ本リストを配布しました。	継続	人権・男女共生課
41	(2)	—	P45	【絵本だよりの作成・配付】 絵本の内容紹介や、子どもたちに伝えたいことを盛り込んだ絵本だよりを発行し、保護者への啓発に取り組みます。	ブックリストの活用や文書の発行、掲示物の工夫などを通して保護者へ読み聞かせの大切さを伝えていきます。また、子どもの興味や関心が高い絵本等の情報提供を引き続き実施します。 保護者へ文書の発行を通して絵本の読み聞かせの大切さや楽しさ等を伝えると共に、子どもの興味や関心に合わせた絵本等の情報を提供しました。	継続	保育幼稚園総務課